

■ 目次

■ 平成29年第3回定例会【9月】

平成28年度歳入歳出決算の認定 … 2～3

監査意見書（要約）

平成29年度一般会計補正予算に

対する主な質疑……………4

意見書の提出……………4

一般質問 ……………5～13

■ 特集「読者の声」 …… 14～15

■ 議会だよりギャラリー …… 16



下郷町 議会だより

平成29年11月

第 **81** 号



提出された議案

【町提出議案】

▼ 平成28年度下郷町健全化判断比率等について（報告）

▼ 平成28年度下郷町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

▼ 下郷町情報公開条例の一部を改正する条例の設定について

▼ 下郷町個人情報保護条例の一部を改正する条例の設定について

▼ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の設定について

▼ 平成29年度下郷町一般会計補正予算（第3号）

▼ 平成29年度特別会計補正予算（4件）

▼ 【議員提出議案】

▼ 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について

第27回下郷町ジュニアマラソン大会
（大川ふるさと公園）

8459万円の黒字

▼平成 28 年度決算額の総額

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
一 般 会 計	4,880,857	4,515,580	365,277
特 別 会 計	2,158,699	2,039,382	119,317
合 計	7,039,556	6,554,962	484,594



監査意見を述べる渡部代表監査委員

決算の結果に対する 監査委員の意見(要約)

【総括】

いずれの会計も決算額は関係諸帳簿等と合致しており、決算計数が正確であることを確認した。

厳しい財政状況の中、町税等の自主財源の確保に努め、柔軟に事務事業を見直す姿勢を持ち、限られた予算で最大の効果を

を發揮され、「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち」として成長し続けることを期待するものである。

【経常収支比率について】

一般・特別会計を含めた単年度収支は3502万円であり、前年度の1億7594万円に比し大幅に減少している。また、財政の弾力性を示す経常収支比率も前年度の78・7%から80・6%と硬直化が見られ、今後も注意が必要である。

【財政運営状況について】

財政運営の状況を示す基本的指数のひとつである経常一般財源の収入額は29億5605万円で、前年

度より2685万円(0・9%)減少している。今後とも自主財源の確保と経費削減に取り組んでいただきたい。

【債権の整理について】

使用料等の不良債権が年々積み上がり、その管理に労力を奪われるなど悪循環を招くことが懸念される。

住宅使用料の滞納額は依然として増加傾向にあり、昨年の決算審査で指摘したところ、現在法的措置に至る環境整備に着手した段階で、その対応はスピード感に欠けるものと言わざるを得ない。

水道使用料収納対策は、改善の傾向が見られたが、町簡易水道給水停止要綱に基づく給水停止も視野に収納対策を講じるなど、更なる使用者負担の公平性の確保に努めていただきたい。

*経常収支比率…人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、町税、普通交付税等を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているのかをみることににより、財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられている。比率が低いほど臨時の財政需要に対して余裕をもつことになり弾力性があることになる。

9月 定例会

決算 4 億

28 年度 決算 認定 の 主 な 質 疑

▼姫川住宅改修工事

問

建築工事（床・浴室改修、畳入替）、設備工事（洋式便器設置）ということで

約286万円支出している。姫川住宅は29年度から新しくつくるということで工事が始まっている。いずれ全面的に壊すべきものに対してこれだけの改修をするというのは、税金の投入、果たしていいかなものか。もつと簡易な改修で済まなかったのか。

答

今年度、新たに2戸の新築工事を実施している。それに伴う撤去工事にあわせて4戸分の仮入居の方、この方に新たに同じ団地内に住宅を提供する最低限の改修をした工事となっている。

▼財政調整基金

問

この財政調整の適正額、最低限これだけ基礎的な部分を持っていれば一般会計の基金としては、当面安全であるという額をそろそろ決定すべき時期に来ているのではないか。国でも市町村が持っている財政調整基金について話をしている。今現在町として、この財政調整基金の残高18億円をどのように評価するのか。

答

基準財政需要額の10%、要するに1割ですと、3億から4億ぐらいが適当な数字となるが、これだけでは、当初予算を組むときに厳しい。また公共施設の改修工事等もある。そうなる大変なお金がかかるので、お金を少し持っていることも、財政運営には必要ではないかと思っています。

▼固定資産税の不納欠損

問

固定資産税約254万、不納欠損額があるが、どのような状況の中身なのか。

答

滞納処分をすることができない財産がないとき（預金も含む）。滞納処分をすることによってその生活を著しく窮迫させるおそれがあるとき。滞納者の住所及び滞納処分をすることができない財産がともに不明であるとき。という条件があり、この要件で3年が経過したときには不納欠損処理をするという規定がある。4名が対象となっており、28年度に不納欠損処理をした。

▼会津バス運行に係る維持負担金

問

昨年度は維持負担金が減っている。これは乗る人が少なくても、定期的に同じ本数が走っているが、収入が増えて減っているのか。それとも本数が減っているのか。

答

収入で約81万円増えて、費用で約一二万円減っている。会津バスの営業努力ということだと思われる。相対的に収入が上がった形となり、町の支払い額が少なくなった。

 不納欠損額とは、すでに収入とすべき歳入で徴収できないと認定されたもの。

【参考】28 年度末滞納繰越額（千円）

住宅使用料	61,381
水道使用料	71,595
国民健康保険税	85,235
町 民 税	4,076
固定資産税	48,755

*基準財政需要額…普通交付税算定上、地方公共団体が合理的かつ妥当な水準の行政を行い、又は施設を維持するために必要な、財政需要を各行政項目ごとに算定した額の合算をいう。

▼しもごう保育所駐車場
拡張工事

問

駐車場のところに防火水槽と電気キュービクルがあるが、きちんと移転をして工事をやるべきだと思いが予算計上されていない。どうなっているのか。今回やらないのであれば、将来的には移転させる計画はあるのか。

答

防火水槽と電気キュービクルの移転は現在考

問

えていない。舗装だけをして除雪できるようにするものである。今後の計画は、2つの保育所のあり方について、これから検討・協議しなければならないので、その時点で合わせて検討していきたい。

答

乗用車で何台ぐらいとめられるのか。

▼町社会福祉協議会補助金

問

会長報酬ということだが、前は町長が会長だったが報酬はあったのか。それ以前の会長報酬はいくらだったのか。

答

当然町長の報酬はない。それ以前の会長は月額4万円報酬を支払っている。今回、5月に新たに会長が就任したので非常勤で月額報酬4万円、6月から3月までの10カ月分で40万円を増額計上した。

▼測量設計委託料
(町道沼尾1号線)

問

東北電力の要請で工事をするが、委託料は東北電力から負担をいただいたが、測量し工事になる場合、東北電力から一部負担があるのか。また、国庫補助金が得られるのか。

答

この箇所は28年1月に落石の報告があり、以来通行止めである。昨年より協議し、東北電力が全額負担するという合意を得て今回補正計上した。工事費も全額負担ということで国費は見込んでいない。

▼中ノ沢観音堂駐車場
整備工事

問

なぜ当初予算に計上しなかったのか。中妻区から要望があったのか。ほかに特定の団体や特定の人から要望があったのか。やるのであれば当初予算で組むべきでは。

答

この春に、中妻区から要望あり、6月計上を予定し道路工事の請け差で検討したが、予算がない状況となり、急遽9月補正に計上した。今後は、重点要望を中心に事業を進めていきたい。

▼鳥獣被害対策協議会
補助金

問

追い払い用の花火購入費35万1千円だが、当初予算はどのくらいだったのか。

答

協議会では、当初5連発の花火を70万円ほど予算措置していたが、それでは足りず協議会補助金の中で流用して活用していた。

意見書

◆「全国森林環境税」の創設
に関する意見書の提出

▽意見書提出依頼者

全国森林環境税創設促進

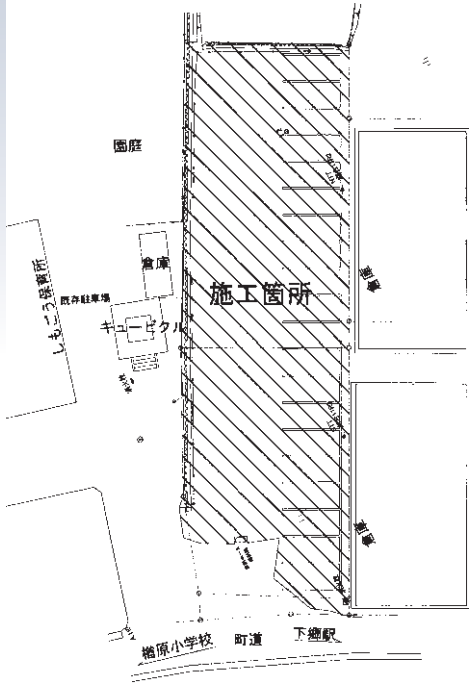
議員連盟

会長 板垣 一徳

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決した。

駐車場拡張箇所図



一 般 質 問

8 議員が町政をたずねます

一般質問は、9月11日から12日の2日間で行われ、8人の議員が登壇し町政を質しました。

6ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします（掲載は一人3問以内としているため、●印の質疑応答のみとなります）。

◇湯田 純朗（6ページ）

- 姫川住宅の住宅使用料及び水道使用料の滞納の状況
- 町有地内における子供の怪我について
- 平成30年度下郷町職員採用試験
- 高齢者タクシー助成事業
- 下郷観光循環バスについて

◇佐藤 盛雄（7ページ）

- 下郷観光循環バスの実績等は
- 地域おこし協力隊・集落支援事業
- 国保の財政運営の県移管について

◇猪股 謙喜（8ページ）

- 国指定天然記念物及び町指定文化財の保護と活用は
- Jアラート発動における対応は

◇玉川 邦夫（9ページ）

- 地域の活性化を目指す今後の振興計画は
- 学力向上に向けた積極的な教育施策を

◇小椋 淑孝（10ページ）

- 定住促進の対応策は

◇星 輝夫（11ページ）

- 再生可能エネルギー発電に向けての容量アップを
- 防犯カメラの設置を
- 有害な鳥獣駆除の強化を

◇室井 亜男（12ページ）

- 鳥獣被害の対策は
- 町の公共施設について

◇山名田 久美子（13ページ）

- 全国瞬時警報システム（Jアラート）の対策は
- 茅の確保を



“一般質問”とは、町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることを言います。



ここを問う

町政

湯田純朗議員の 一般質問

質問 町有地内で児童が受傷した 今後の町の対応は

答弁
壊れた箇所等の点検を徹底させ
道路管理をしつかりやっていく

問

町有地内で、側溝のグレーディングが、除雪車により押し曲げられ、すぎ間ができた状態で放置されていたため、女子児童が足を挟み転倒し、顔、両膝周辺に擦過傷を受傷する事故が起きた。そのときの町及び教育委員会の対応はどうだったのか。また、今後の対応は。

答

町では、事故発生の際の連絡をうけ、職員が現場に向い、病院に付き添い治療後は、訪問・電話による治療状況確認を行った。今後も引き続き状況確認を行い、総合的に判断していきたい。また、大変道路管理が不十分で誠に申し訳ございませんでした。今後、除雪作業が終われば、

壊れた箇所等の点検を徹底させ、このようなことのないよう道路管理をしつかりやっていく。

教育委員会では、学校長に連絡、校長から担任へ連絡しけがの様子を確認した。学校を通じ在宅時での危険箇所の生徒指導を学校職員が全員集まる協議会で共通理解を図り、各担任から各児童に指導を行った。また、年間計画の

と、関係機関と連携し、パトロールの強化依頼、子ども避難の家の訪問や協力、さらに地区PTAによる地区ごとの危険箇所の確認及び立て札を立てるなど、児童生徒の安全、生命の確保について万全を期するよう努力している。今後もPTAや地域との連携を深め、児童生徒の安全確保に努めていく。

質問

未納通知書

給水停止予告通知書等の
発送は行ったのか

答弁

悪質滞納者は 町要綱により
給水停止予告通知書を発送予定

問

6月定例会で質問した
姫川住宅の滞納状況、
その対策について答弁された
が、今現在、事務は行われているのか。

答

姫川住宅の住宅使用料の対策は、6月以降も
各住宅の滞納者に督促状の
送、夜間徴収を含めた臨戸訪問を実施。また、水道使用料の

滞納者は、住宅徴収事務と同様に督促状及び未納通知書などの発送により、自主納付を促し、臨戸訪問にて納付指導を実施。給水停止は、町内一円において実施すべく姫川住宅を含む約30名で悪質滞納者の生活実態や所得、収納状況を鑑み、町簡易水道給水停止要綱により、給水停止予告通知書などの発送を予定している。

質問

30年度職員採用試験の点数配分は

答弁

粗点で教養試験40点
事務適性検査100点合計140点

問

各試験の点数配分などはあるのか。また、
昨年の合格発表は12月下旬だが今年度も同じ時期になるのか。

答

教養試験が粗点で40点、事務適性検査が粗点で100点、合計140点

となり、一般性格診断検査と職場適応検査は点数でなく、面接試験時の補助的な資料として活用する検査となる。教養試験以外の検査3項目は、今年度から導入された検査項目である。また、2次試験の合格発表は、例年どおりの時期を予定している。



町政

ここを問う

佐藤盛雄議員の 一般質問

質問

下郷町観光循環バスの実績は

答弁

始まったばかりで
大きな成果はでていない

問

本年度当初予算に6百128千円を計上して下郷町観光循環バスの運行を委託したが、現在までの月別乗車実績はどのようになっているのか。多額の税金を投入して、対費用効果があったのか。また観光客の誘導方法として別の選択肢は無かったのか。さらに観光地のそれぞれポイントで、受入体制は十分であったか。このような事を

質問

地域おこし協力隊 集落支援事業はどうなったか

答弁

問い合わせはあるが応募がない
引き続き募集をかけていく

問

当初予算に8百368千円が計上されているが、応募状況などの進捗はどのようになっているのか。本年

も半年が過ぎ、当初の目的が十分に達成するとは考えられないが、今後どのように対処するのか伺う。

答

踏まえ、今後の方針をどのように考えているのか伺う。
特急リバティの運行に合わせ、観光客の二次交通を確保するため、会津バスと契約した。事業が始まっ



質問

国保の財政運営の県移管について どのように変わるのか

答弁

平成30年から福島県に移管される

問

平成30年度から国民健康保険の財政運営の主体が、町から県に移管されますが、どのように変わるのか。各市町村での税率の違い、賦課基準や徴収の仕組み、さらに保険税の未済や基金の取り扱い、どうなるのか伺う。

答

平成30年度からの県移管の目的は財政運営の

安定化を図るためのもので、県は5年後を目標に県内統一した税率にしたい意向である。税率は県が提示するが、決定は各自自治体となっており、賦課・徴収の仕組みとしては変わっていない。未済も今まで同様の取り扱いとなる見込みで、税率設定や基金の取り扱い、現段階では決定されていない。

答

町ホームページや地域おこし協力隊の専用ホームページなどを活用し募集しているが、数件の問い合わせ

せはあるものの、現時点では応募がない。今後、応募しやすいよう、活動内容を具体的にしていく。

猪股謙喜議員の
一般質問

質問

中山風穴の今後の保護整備活動は

答弁

計画書を作成し

保護整備事業を行う

問

野焼きが風穴維持に効果的であるが、これまでの維持の手法と今後の保護整備活動は。

防ぎ、風穴機能を維持する効果がある。しかし、近隣への延焼の危険がある。現在は樹木の伐採で対応している。保護指導委員会を設置した。計画書を作り、歩道等の再整備をはじめ、保護整備事業を行う

答

野焼きは、樹木の生育を抑え腐植土の推積を

防ぎ、風穴機能を維持する効果がある。しかし、近隣への延焼の危険がある。現在は樹木の伐採で対応している。保護指導委員会を設置した。計画書を作り、歩道等の再整備をはじめ、保護整備事業を行う



ている。

問

町指定文化財の盗難や所有者が管理できない場合の対応は。

答

盗難への対策は講じていないが、近年発生し

ている油かけ事件や火災予防については、所有者へ注意喚起を行っている。また、所有者が管理できなくなった場合は、保管場所の問題がある。そのような事例が発生すれば、国・県と協議し対応したい。

質問

子供たちへの対応は

答弁

こどもひなんの家などに避難するよう児童生徒に周知

問

8月29日、Jアラートが発動されたが、子供たちの対応はどうなっているのか。

答

8月29日午前中に、今後の対策を協議した。学校ごとに避難場所の確認を指示。これを受け学校は、在校時は外にいた場合は、すぐ

校舎内に入り、窓から離れ机の下にもぐるなどで安全を確保する。通学時には、こども避難の家、近くの民家、公共施設に避難するよう指導した。この事を児童生徒に周知、保護者に通知した。役場庁舎を含めた町管理施設利用者にも、安全な場所へ避難させるよう職員に指導する。



町政

ここを問う

玉川邦夫議員の
一般質問

質問

地域活性化を目指す振興計画は

答弁

街道の環境整備や

鳥獣被害防止を継続的に

問

本町の企業誘致は一向に進んでいない。国は

若者の地方流出歯止めとして、企業のサテライトオフィスを誘致を支援している。その支援に挑戦する考えはあるか。

②本町では、数多くの観光資源が町民によって掘り起こされている。それを後押しする観光整備計画はあるのか。

③国は概算要求で農山村の魅力アップをめざして予算を増やした。今年から始めた鳥獣被害防止パトロールの時間帯や日数の検討はされているか。

答

①本町の企業誘致のきっかけとして有効と考えられるが、企業側の課題は、本社とのコミュニケーション不足、賃貸管理の難し

さがある。今後慎重に検討していきたい。

②今年も会津中街道沿いの日暮滝展望台、次年度は周辺の整備を進め、観光客・登山客

質問

学力向上に向けた積極的な施策を

答弁

課題を分析し
指導法の工夫や家庭学習の定着を

問

①“家庭・地域との連携を土台として学力向上を図る”これが本町教育理念である。今年の学力調査の結果はどうだったか。また、結果分析から見えてくる課題は何か。

②新聞を読む児童生徒は平均正答率が高いという。この分析を学力向上対策に取り入れるべきではないか。

の誘客を図る。また、中ノ沢観音堂や湯野上温泉駅前の駐車場整備を行う。さらに、不評被害払拭のために、宿泊客への補助制度も継続していく。

③地域行事への子供たちの参加が減少している。「連携を土台とした学力向上」という視点から、教育長はどう考えるか。

答

①小学校国語A・算数Aは全国平均を上回っている。中学校も年々平均点を伸ばしている。結果分析後は、県の訪問指導を実施する予定である。



学力向上に取り組む児童

③実施隊と機会ある毎に課題等を話し合ってきている。日誌記入によって情報の共有化も図っている。

②本町の小学生は新聞を読む頻度は高いが、中学生は低い。時事問題に取り組む力が求められている昨今、新聞活用については検討課題にしたい。

③スポーツ等の活動で多忙な中でも、子供たちを積極的に行事に参加させている地域もある。クローバープランを母体として、家庭との連携で学習時間の確保に努めていく。



町政

ここを問う

小椋淑孝議員の 一般質問

質問

定住促進地域の整備を

答弁 施策として対応していく

問

本町における人口減少
は年々減少しており、

少子高齢化、若者たちが高校卒業後、進学や就職で地元を離れて、戻ってくる人数が少ないのも、人口が減少する一つ。何もしないでいるようでは、解決方法は見いだせないと思う。下郷町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を配布されて、内容を見ましたが、対象期間が長期的なうえに、国のビジョンに沿ったもので、町独自の定住に関するものが記載されていないのはなぜなのか。年々人口減少しているのはわかっていながら、対応策を講じないのはなぜなのか。交流人口の増加、観光客の増加も町のためとは思いますが、町の人口減少に歯止めをかけることが、先にやらなければいけないと思

うが、町長の考えを伺う。

答

国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、国の総人口は、2008年から減少しており、2010年の総人口は、1億2806万人で、合計特殊出生率が1.35で推移した場合、30年後の2040年には1億728万人、2060年には8674万人、2090年には5727万人にまで減少すると予測されている。

本町の人口は、1980年の10025人をピークに減少傾向、2017年8月1日現在の5912人となっており、ピーク時に比べると、4113人減少している。本町では、2040年に4000人の人口推移を目指

す事としている。人口推移を目指す方策が、新しい仕事を創りだす「雇用創出」・新しい人の流れを創りだす「交流人口の増加」・「下郷町らしい子育て・コミュニティ環境づくり」の推進・「地域の特色を活かし、郷土愛を育むまちづくり」の推進の4つを掲げ、人口減少や各種施策に取り組んでいる。

少子化対策には、子育て金や入学祝い金、2人以上の同時入所時の保育料免除など数多くの子育て支援に取り組んでいる。Uターン・Iターン者への移住支援、空き家などを活用した取り組みなど検討し、既存の事業についても

評価、見直しを図りながら具体的な内容を検討し進めたい。

人口減少に歯止めをかけることが先ではないかについては、交流人口の増加・観光客の増加も取り組みながら、雇用定住の促進を図るなど、人口減少対策を目指すこととしている。

問

下郷町に土地を購入しようとした人がいたが、値段が高いと断念した。定住促進地域整備を早く整備してはどうか。

答

非常に残念。施策として対応していく。

下郷町人口ビジョン及び
まち・ひと・しごと創生総合戦略

—「見守り・支えあふる交流のまち」の realization—

平成28年3月
下郷町



町政

ここを問う

星 輝夫議員の 一般質問

質問

企業誘致 地域活性化のために

電送網の容量アップを

答弁

会津総合開発協議会などを通じ
努力していきたい

問

県は、再生可能エネルギーの自給率を2040年までに100%にすると発表しているが、郡内のほとん

どの地域で電力会社の容量制限で再生可能エネルギー事業を行いたいという事業者がいても着手することができない。容量アップのために電力会社が全ての資金を出して増量工事を行うことはできないとのことで、全く前に進め

ません。地域活性化のためにも再生可能エネルギー事業は有効な手段と思うが町の考えを伺う。また、今年の6月初めに南会津郡内の温泉施設で世界発の廃湯を使って電気を起こすことに成功した。その世界発、日本発をこの下郷からぜひやりたい。しかし容量がなくては発電しても売れない。それでは企業は来ません。ぜひ、努力していただきたい。

質問

防犯カメラの設置を

答弁

導入に向けた検討をしていく

問

防犯カメラの設置により、安全で安心な住みよい町づくりをすべきではないか。また不法投棄等の抑止になると考えるが町の考えを伺う。

答

防犯カメラの設置は有効な手段と考える。設置を検討する上で、さまざまな課題があると考えられるが、今後関係機関のご指導をいただき導入に向けた検討をしていく。

答

小水力発電施設の誘致や住宅用太陽光発電システムの設置費補助などにより再生可能エネルギーの推進に取り組んでいる。質問のとおり、南会津地域での送電網の容量の関係から、発電しても送電できないといった課題があり、解消するには送電網の新設や改修が必要だが、

送電網の整備には多額の費用が発生し、事業者や自治体だけでは対応が困難かと思われる。今後、国が指導して全国的な送電網を構築する枠組みをつくる要望を国や県にしていきたい。また、一町村だけではなかなか実現できませんので会津総合開発協議会などを通じて努力していきたい。

質問

観音沼森林公園の鳥獣被害が拡大
町の取り組みは

答弁

ネット対策を講じた
実証の試みをしている

問

本町には観音沼森林公園があるが前年より鳥獣被害が拡大しているが、町の取り組みはどのように行っているのか。

答

観音沼森林公園におけるニホンジカによる被害状況は、特にニホンジカ

が浮島に渡り、そこに生息する植物の食い荒らしや踏み荒らしが目立っている。対策として、地面に野菜畑などで利用するネットを敷くなどが効果あるとの情報から、現在ネットでの対策を講じた実証の試みをしている。



ここを問う

町政

室井亜男議員の 一般質問

質問

公共施設等総合管理計画の 提示と説明を

答弁 12月議会で報告したい

12月の議会に報告をしたい。また、国県のHPでは掲載しているが町HPにはこれから掲載していきたい。

問

28年に公共施設等総合管理計画を策定するため、委託費を予算化したが計画は策定されたのか。策定されたのであれば、町民や議会に公表しないのか。今後、公共施設を維持するためには相当の予算が必要となり将来の財政状況を見据え、これらの

予算を審議していくためにも計画の提示と説明を議会に行う必要があると考える。なぜ町長、議会に公表できないことがあるのか。

答

本年3月に策定した。今後の町の予算に大きくかわる内容であるので、

質問

基幹産業である農業を守るため 惜しみない予算の確保を

答弁

今後も必要な予算を確保し
対応していく

問

今年度から結成された鳥獣被害対策実施隊のパトロール方法と目撃された場合の体制・対応は。さらに実施隊をはじめて5カ月経過したが、これまでの効果は。また新たに組み込まれた対策があれば、その効果と内容を伺う。

答

パトロールは猟銃を携帯した実施隊2名

問

今年も町内で熊やイノシシ、猿、鹿などによる農作物等の被害が多発しているが、昨年と今年の被害状況の比較を伺う。

答

9月7日現在の農作物被害額は約68万円、被害面積43・5aで昨年同時期の被害額は約53万円、被害面積33・5aである。

1組により祝日を除く月・水・金曜の週3回の設定しているが鳥獣の目撃情報などにより引き続き被害が懸念される場合等はコースとかわれず、臨機応変に対応していく。パトロール中目撃情報などがあれば、速やかに現場に急行し、その対応にあたる。現在まで隊員により、熊1頭、猿3頭を捕獲した。さらに個人や区で設置した電気柵などの適切な管理指導などを行い、直接住民とその対策方法を指導することで住民との対策に取り組む意欲向上に効果があった。また1万3千円の捕獲報奨金を1万8千円とし、捕獲に携わる方の意欲向上につながっている。

問

町はどのような方策だと効果があるのか。今後、どのような対策をとっていく考えなのか。また町の基幹産業である農業を守っていくため、この問題解決に向けて惜しみない予算をかけていく考えはあるのか。

答

捕獲による頭数の管理が最も有効な対策と考え、今後は実施してきた活動はもちろん、有効となる捕獲機材などの導入を推進し強化を図っていく。さらに現在隊員は高齢化等により減少が懸念され、新たな人員確保も今後検討を進めたい。また、広域連携で協議会を設立するなど、今後新たな対策として考えられる。

鳥獣被害対策は町の重要課題と捉え、電気柵や防護ネットなどの購入補助をはじめ、町鳥獣被害対策協議会や町鳥獣被害対策実施隊の活動が充実するための費用など、今後必要な予算を確保し対応していきたい。



町政

ここを問う

山名田久美子議員の 一般質問

質問

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）

対策と備えは

答弁

防災頭巾などの備えも

検討していく

問

去る８月２９日６時

２分、全国瞬時警報

システム（Ｊアラート）

が、福島県など１２道県に避

答

８月２９日は、担当課
の職員を招集し、情報

の収集にあたった。８時２０分
には緊急課長会議を招集し、
国や県などの情報収集に努め
今後の対応を協議した。

避難場所について、屋内では窓
から離れた安全な場所、屋外で
は速やかに屋内へ避難すること
を周知するとともに、防災無線
の正常な作動を図るため日々の
点検を呼びかけ、有事の際に備
えなければならぬ。新たに車で
移動中は、安全な場所に車を止
め近くの建物に避難することを
追加した。町民の人命を最優先
に、関係機関と連携を図りなが

ら対応していく考えである。

問

戦場を取材するジャ
ーナリストの話では、

着弾による被害は避けようが
ないが、近くに着弾した場合
は鼓膜が破れることもあるの
で、まず目と耳を守ることが
大切である。ある学校の訓練
では、防災頭巾をかぶり床に
伏せる訓練風景が放映されて
いた。戦後７０年を迎える日本

質問

茅の確保について

答弁

協議会を設置し進めていく

問

国の重要伝統的建造物
群保存地区の指定を受

けている大内宿では、茅の確
保に苦慮している。年２回茅
刈りを実施しているが、軒分

にも満たない。不足している
からと言ってトタンをかぶせ
ることはできない。大内宿
は、町・国・世界の宝であ

答

大内地区との懇談会
で、茅の不足については
承知している。１５年ほど経過

で、このようなことは残念で悔
しいことだが、現在の状況を
考えると、身近なところに防
災頭巾などを備えることが必
要なのではないか。

答

当町の学校での訓練
は、地震などを想定し
実施し防災意識を高めている
が、防災頭巾などの備えも検
討していく。



大内宿の葎き替え作業の様子

問

町にある他の協議会
は、専門知識を有する

方がおられるのか疑問に思っ
てもあるが、やはり専門知
識のある方を入れるべきでは
ないか

答

当然そのように考え
る。

創刊 20 年を迎えました ～ が生かされる議会広報紙に

主な取材（質問）項目は

- ①議会だよりを読まれたことはありますか。
- ②議会だよりは読みやすい紙面になっていますか。
- ③毎回、どの記事を読まれますか。
- ④議会活動で知りたい内容はありますか。
- ⑤魅力的な議会だよりを発行するための要望事項をお聞かせください。

町民と議会との距離を 縮める必要が



渡部 正さん(倉水)

- ① 一般質問の所で、答えの文字が細くて読みにくいです。それと読んでいて隣のページに行きそうになります行政用語も分からない時があります。
- ②
- ③ 一般質問や予算です。人口減少や税の減収費用の増が予想されるなか、議会と町民との距離を縮める必要があると思います。町民との対話の機会や傍聴しやすい日時に議会を開く事も考えてほしいです。
- ④ 議会だよりは、町民と議会の距離を縮める事ができると思います。注目する記事があれば、議会だよりへの関心が高まると思います。
- ⑤

- ① 毎号読んでいます。
- ② 読みやすい。
- ③ 全てに目を通して見る。特に一般質問は、質問する議員さんがどこに重きを置いているかわかるから。読むことでどんな事業があるのか知ることができる。
- ④ 時々話をする機会があるので知りたいことがわかる。
- ⑤ 広報活動は、「活動を広く知ってもらふ」ことが一番の目的だと思う。しかし残念ながら、私たち若い世代にとって、町政や議会活動が身近にあるかと問われれば、

関心は低いと感じる。町政や議会の活動が、自分たちの生活にどのように反映されているのか、自分たちの意見が下郷町を変えられる力があるのか懷疑的だと思っからである。

意見を吸い上げてくれる機会が多様で、日常的なものであつてほしい。収集された意見を議員の方々が精査し、議会で検討すれば、幅広い層の住民が問題意識を持ち、町政・議会活動に興味・関心を抱き、結果広報活動がもっとと活発になると思う。

意見を 取り入れる機会が 多様であれば



鹿目 信和さん(湯野上)

特集

～ 議会だよりが 「読者の声」

本誌は、年4回の定例議会終了毎に発行しています。平成9年9月にスタートして、今年で創刊20周年を迎え、発行号数も81号を数えます。

これを節目に、これからもより皆様に親しまれるような「議会だより」の編集に努めていきたいということで、今回特集「読者の声」というコーナーを設けました。

若者に読んで
もらえるような記事を



五十嵐 正雄さん(塩生)

①② 毎回サラッと目を通す程度だった。今回改めて読んでみると、以前よりすつきりして、議員活動の様子が見易くなった。でも、もっと分りやすい表現にしてほしい。

があると読者も増えるだろう。

③ 楽しみにしている記事は、やはり議員からの「一般質問」であろう。最近

④⑤ 80号で補正予算案「否決」が話題になった。しかし、町民には内容が十分に理解されていないようなので、特集にしてはどうか。

は多くの議員さんが質問しているので町政の様子がよく見える。

④⑤ 各議員さんが自分の公約を果たしていくために、どのような活動をされているのかを載せてほしい。

④⑤ 若者がもっと町政に関心を持てるよう、若者を登場させるようなページ

▼20代女性

① 読んだことはあります。
② 読みやすい。
③ 主に予算関係や、質疑応答の記事です。
④ 質問した内容などが、その時の質疑応答だけで終わらず、実行されているのか知りたいです。

▼20代女性

① 読んだことはあります。
② 読みやすい。
③ 一般質問が多いです。
④ 町の人に、要望の聞き取りなどはどうしていますか。

▼40代女性

① じっくり読むことはないですが、一通り目を通して読ませてもらっています。
② 老若男女読めるように、出来るだけ分かり易く、横文字を無くして貰えれば、目を通す人が一人でも多くなると思います。
③ 一般質問で気になった質問項目を、主に見ています。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

十文字の地域おこし 花見そば祭り 9月10(日)

十文字地区が地域おこしを始めて、10年が経つ。阿久津区長は、「我々のような小さな集落を活気あふれる交流の町の拠点にしていきたい。」と熱く語る。

10月22日(日)にも第2弾「新そば祭り」が行われ、県内外から大勢の客が訪れる。なお、福島大学の5人の学生もボランティアで参上!



地元のそば粉で350食を振る舞った皆さん

歩こう! 檜原の自然と歴史を探して 9月17(日)



参加者は104名。それを支えるスタッフが68名。しんごろうに使うじゅうねんみそは、前日に集まっての仕込みとなります。みんなで集まっての世間話も楽しみのひとつだとか。当日も楽しそうに作業をしていました。

議会を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は12月上旬になります。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長	猪股謙喜
副委員長	山名田久美子
委員	玉川邦夫
委員	小椋淑孝

「未来のために強い下郷をつくる。町民のために優しい行政を進める。」「有言実行」を座右の銘にする星學町長再選の挨拶です▼私はこの言葉をしっかりと受け止めて、実効性のあるまちづくりを目指して尽力する覚悟です▼さて今回は、読者にとって分りやすく、親しみやすい議会だよりを目指して、読者へのインタビューを企画しました。お寄せ頂いたご意見・ご感想を今後の編集に生かしてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。
(玉川 邦夫)

編集後記